

平成26年6月期決算説明会

株式会社 オーネックス

平成26年8月26日

Index

■ H26年6月期業績

■ H27年6月期予想

■ 風力発電

■ 海外営業展開

■ 窒化熱処理

■ 今後の展望

平成26年6月期の業績

平成26年6月期連結業績前期対比

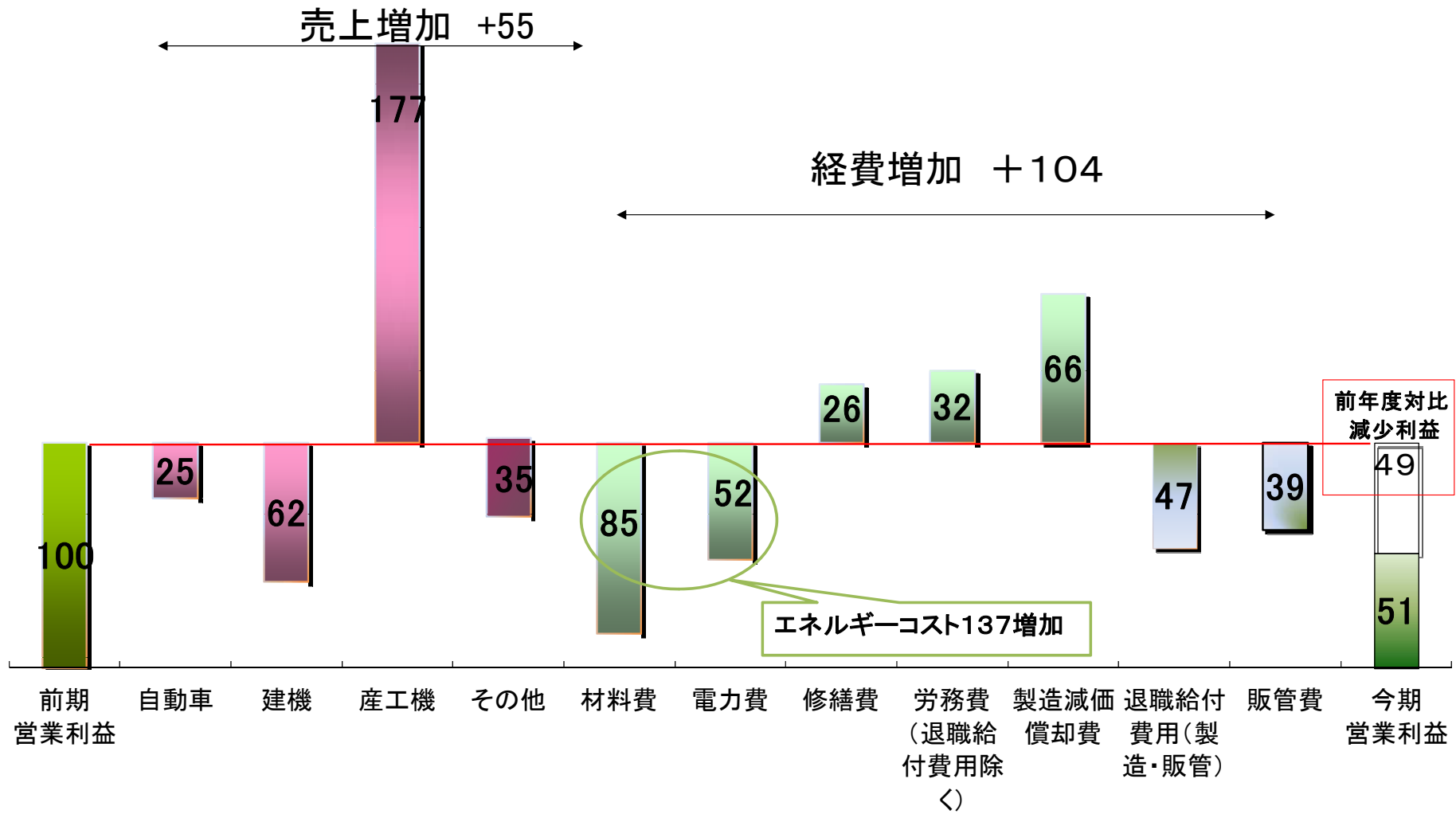
(単位:百万円)

	25/6期	26/6期	増減	増減率
売上高	4,863	4,968	105	2.2%
売上総利益	1,188	1,189	0	0.1%
営業利益	127	94	△32	△25.7%
営業利益率	2.6%	1.9%	△ 0.7%	—
経常利益	135	105	△30	△22.3%
当期純利益	81	65	△15	△19.0%

- 売上高は増加 前期比105百万円
- 営業利益は減益 前期比 △32百万円

営業利益要因分析(対前期比増減)

(株)オーネックス単体



平成26年6月期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	25年 6月末	26年 6月末	増減		25年 6月末	26年 6月末	増減
流動資産	3,701	3,928	227	負債	2,721	2,724	2
固定資産	4,118	3,907	△212	純資産	5,098	5,111	13
資産合計	7,820	7,836	16	負債・純資産合計	7,820	7,836	16

(資産)

現金及び預金 208百万円増加
 売掛債権 104百万円増加

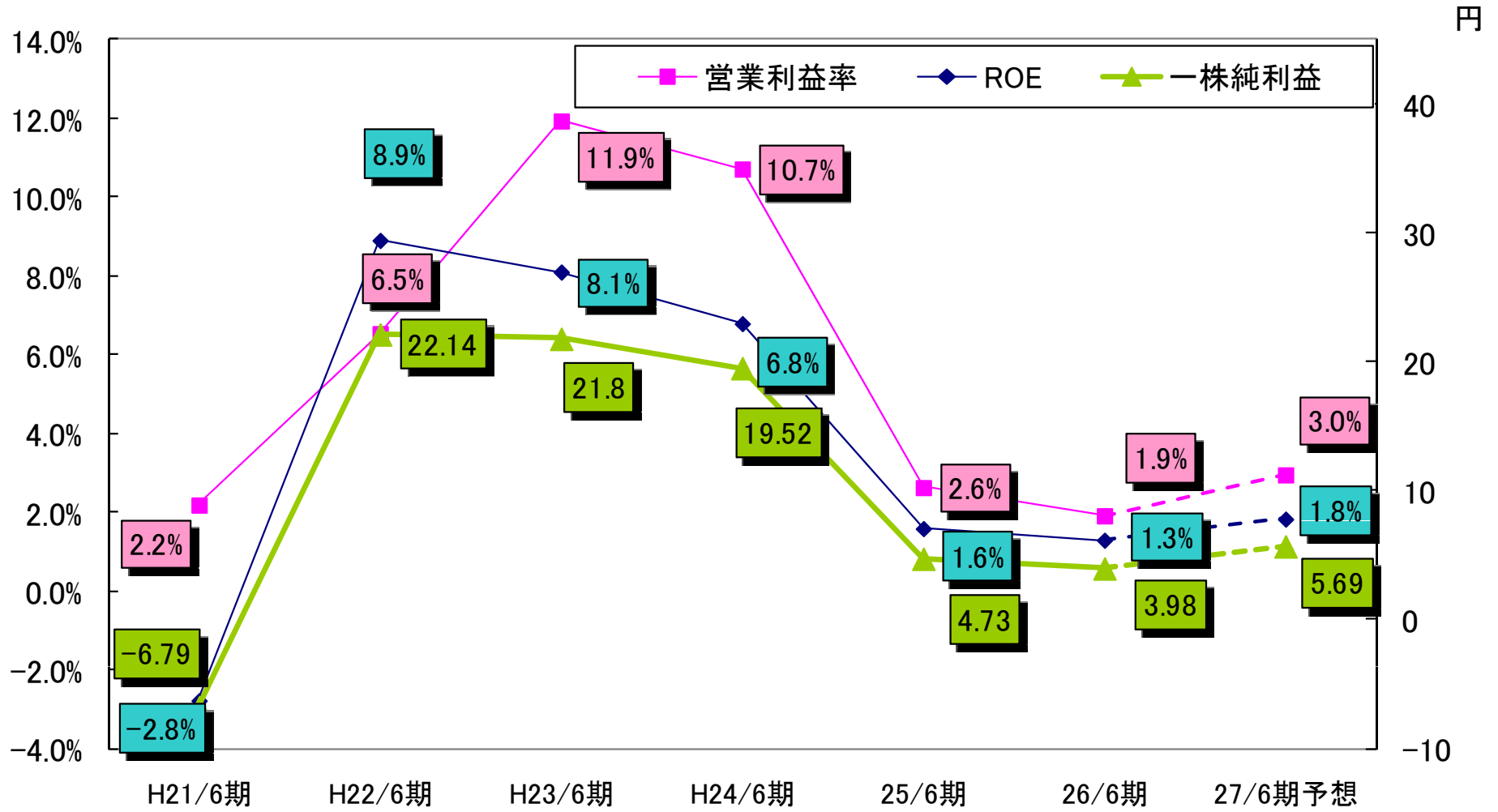
(負債)

借入金・社債 163百万円減少
 退職給付負債 105百万円増加

(自己資本比率)

65.2%(前期 65.2%)

目標とする経営指標(連結)



平成26年6月期セグメント別業績

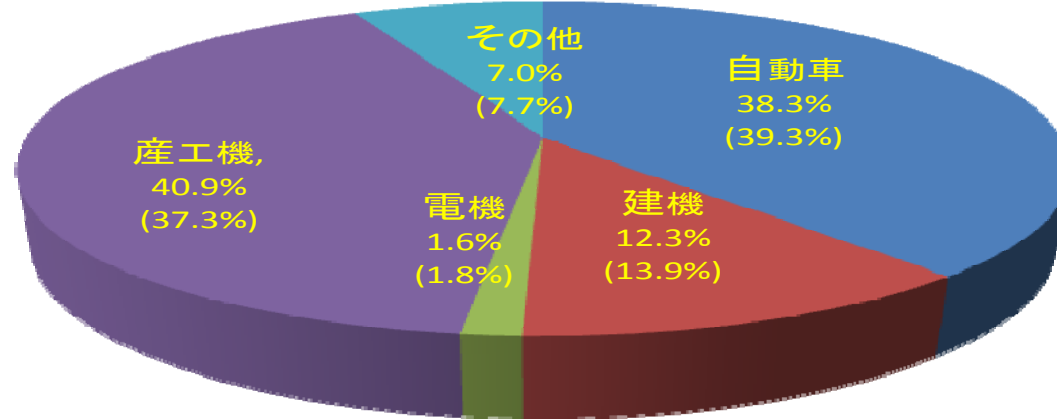
(単位:百万円)

	売上高		営業利益	
	26/6期	前期比	26/6期	前期比
金属熱処理加工	4,418	1.3%	51	△48.8%
運送	550	13.3%	27	△5.5%

金属熱処理加工	: (株)オーネックス
	: (株)オーネックステックセンター
運送	: (株)オーネックスライン

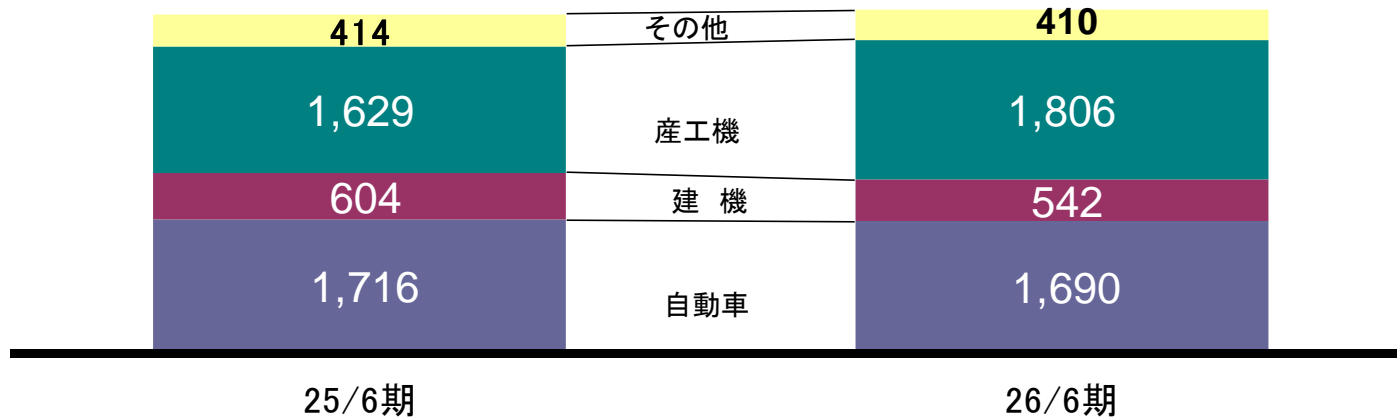
平成26年6月期業種別シェア

※下段()は前期シェア

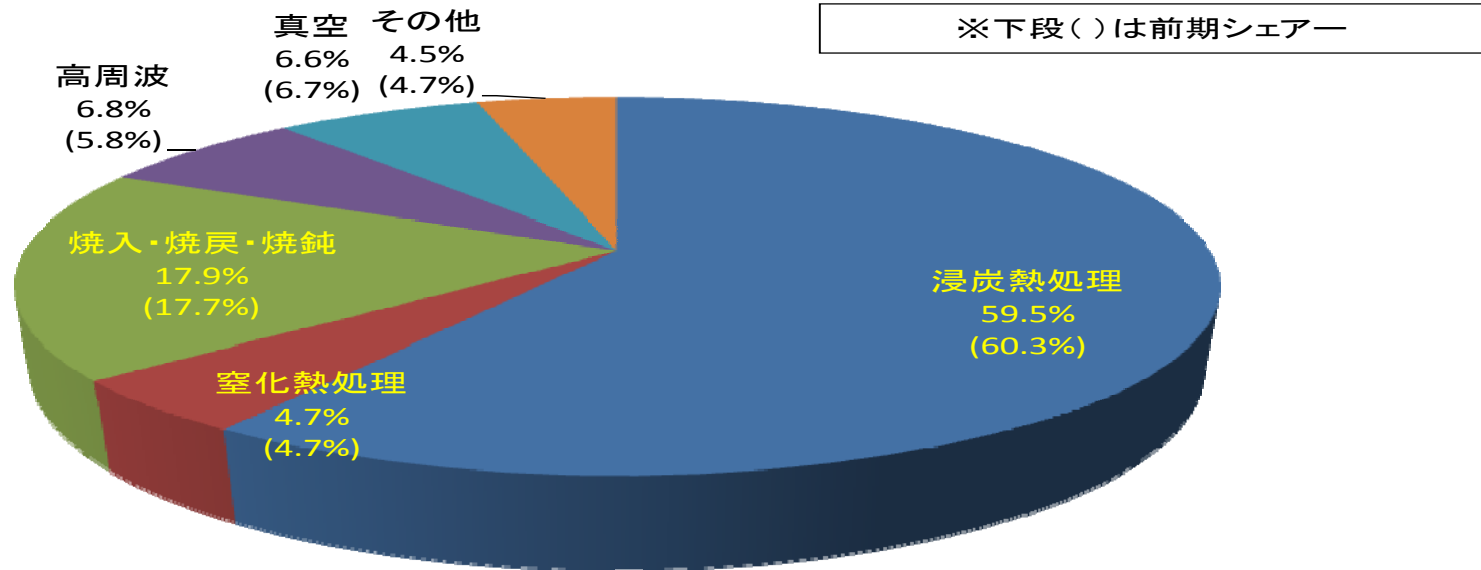


自動車・建機・産工機の推移

(単位:百万円)

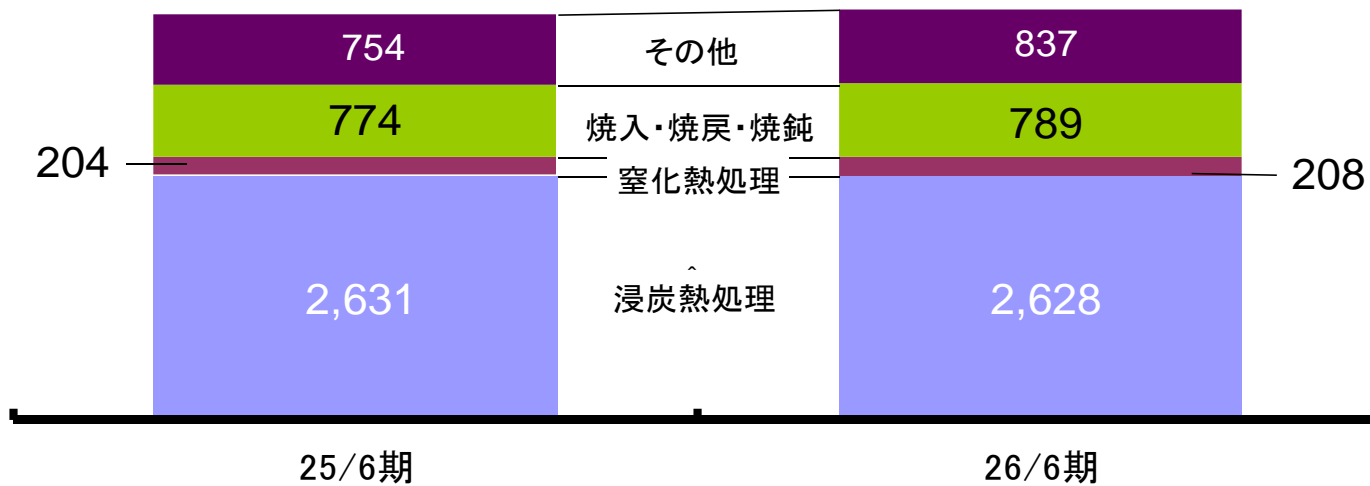


平成26年6月期加工種別シェア



加工種類別の推移

(単位:百万円)



平成27年6月期の業績予想

業績予想

【連結】

(単位:百万円、%)

	26/6期	27/6期 業績予想	増減	増減率
売上高	4,968	5,115	146	2.9%
営業利益	94	151	56	59.0%
経常利益	105	151	45	43.1%
当期純利益	65	94	28	42.5%

【個別】

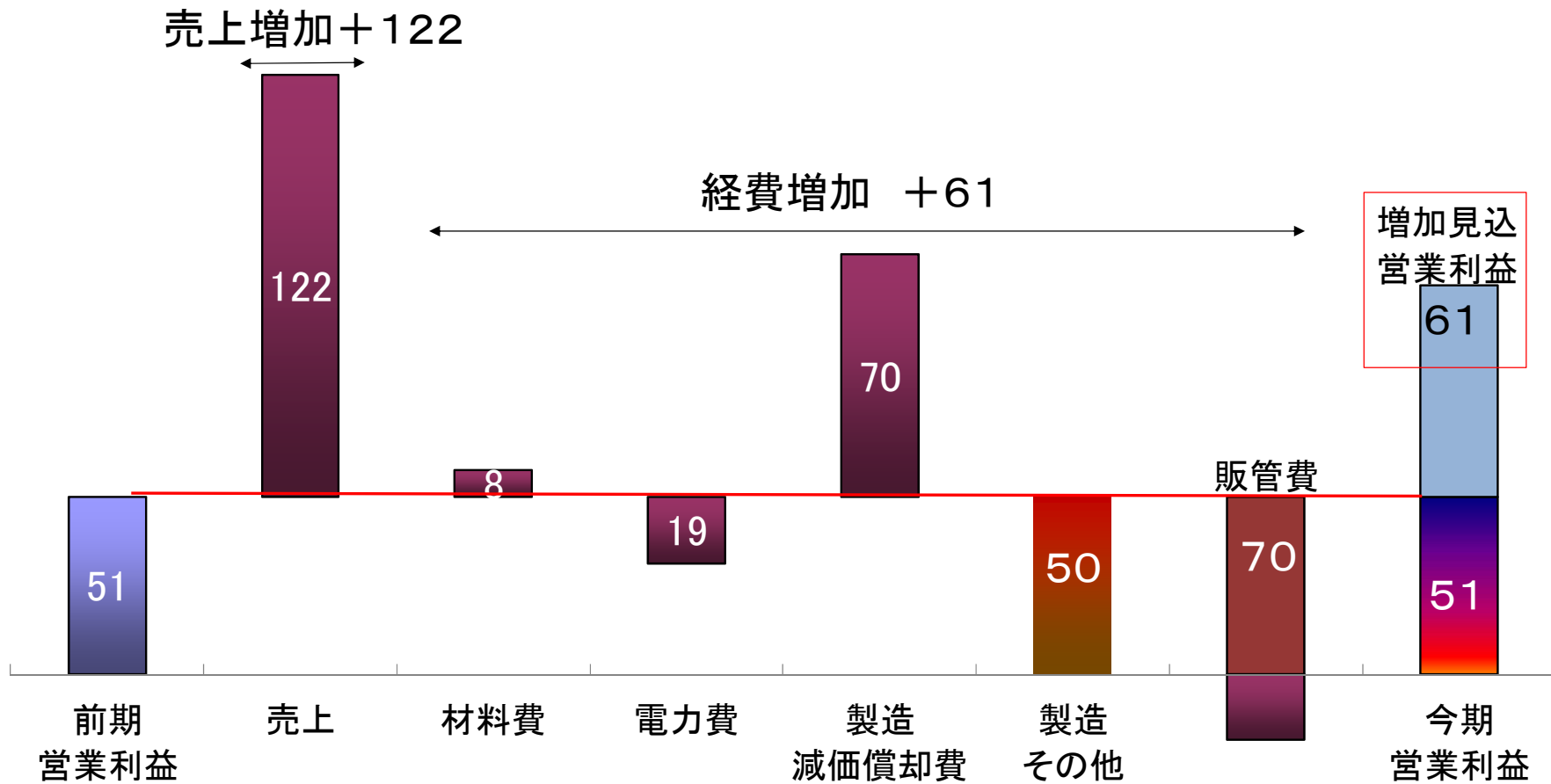
(単位:百万円、%)

	26/6期	27/6期 業績予想	増減	増減率
売上高	4,418	4,540	121	2.8%
経常利益	61	127	66	108.8%
当期純利益	34	77	42	122.8%

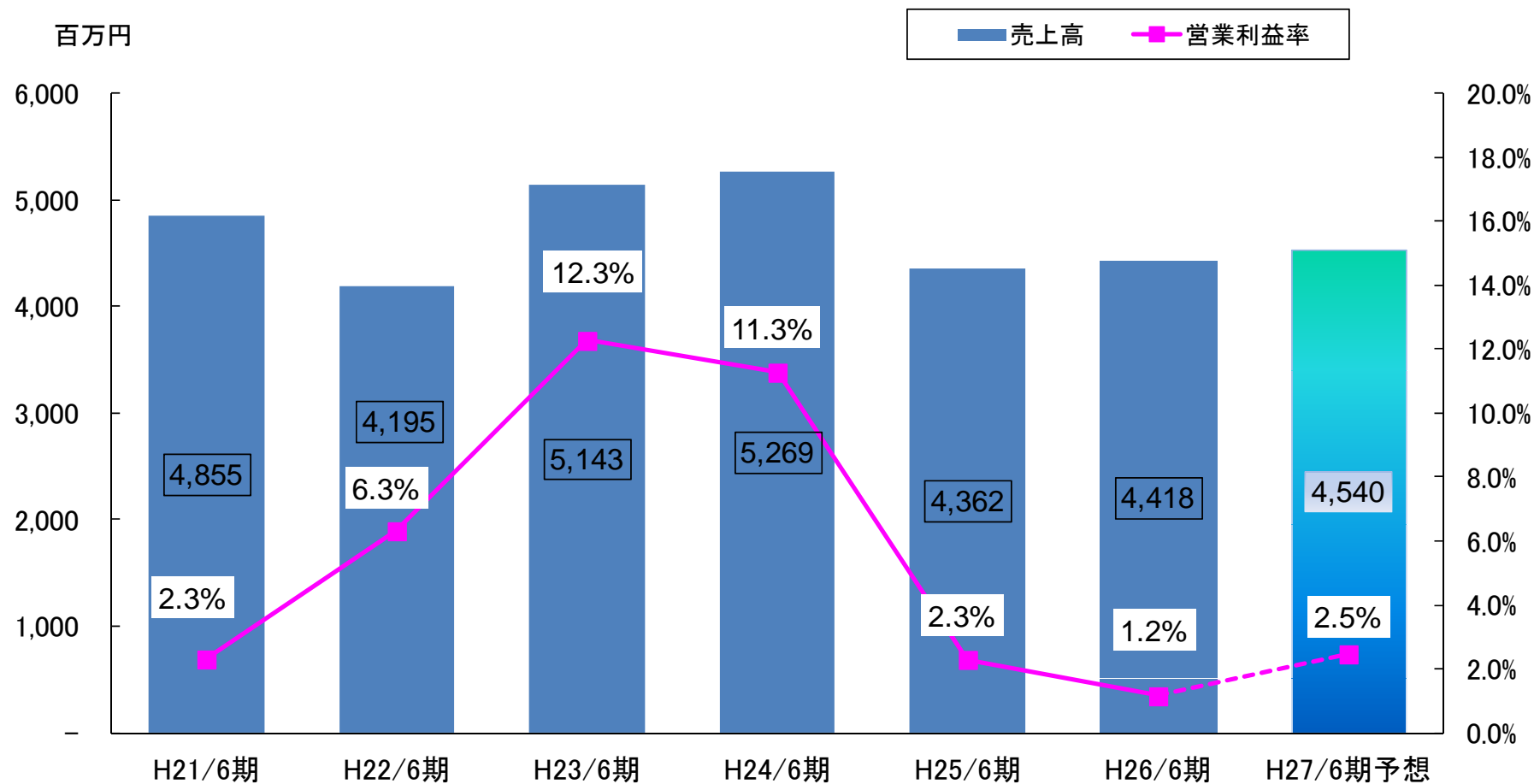
営業利益要因分析(対前年度比増減)

(株)オーネックス単体

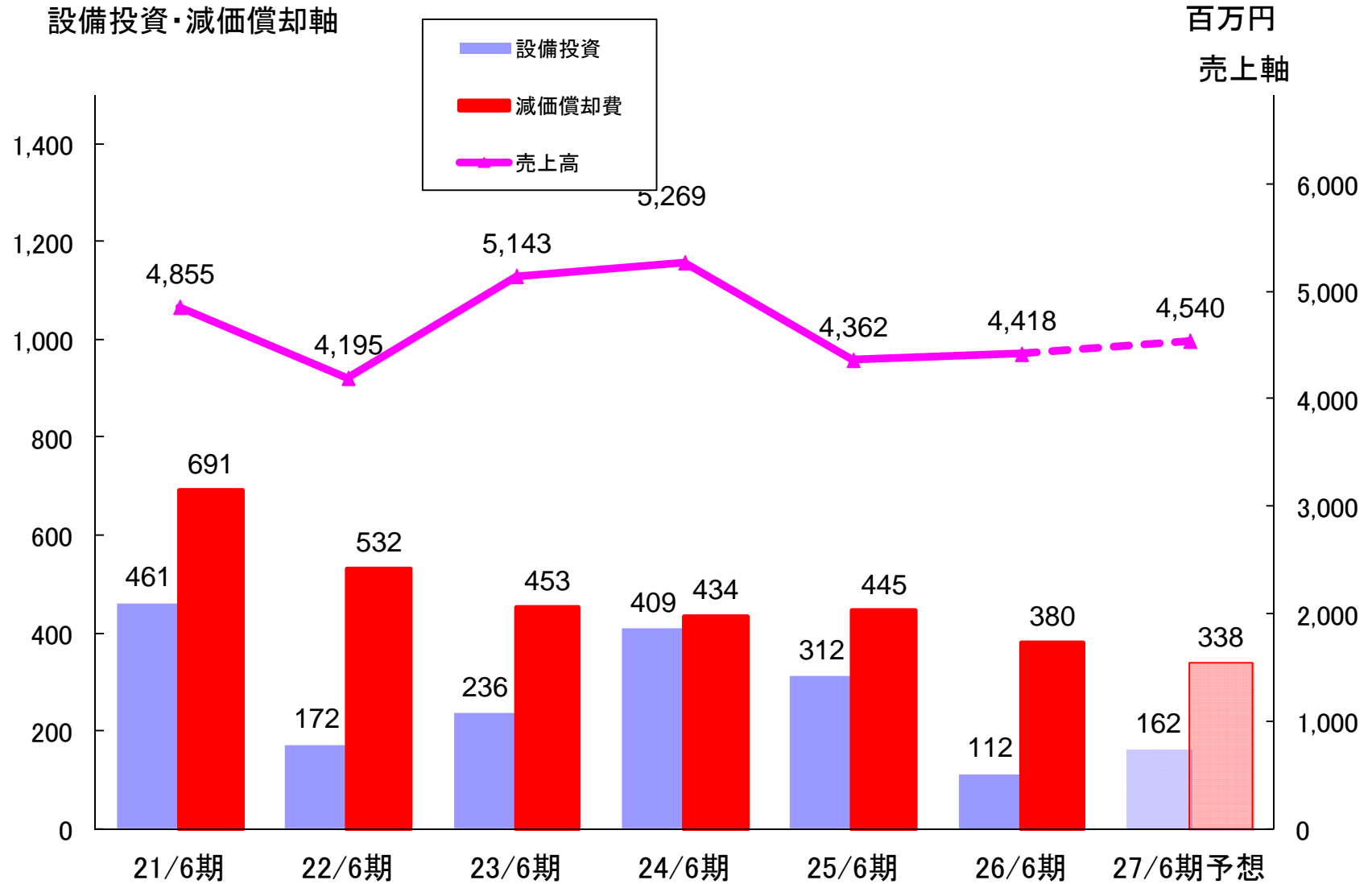
(単位:百万円)



売上高・営業利益率推移 (株)オーネックス単体

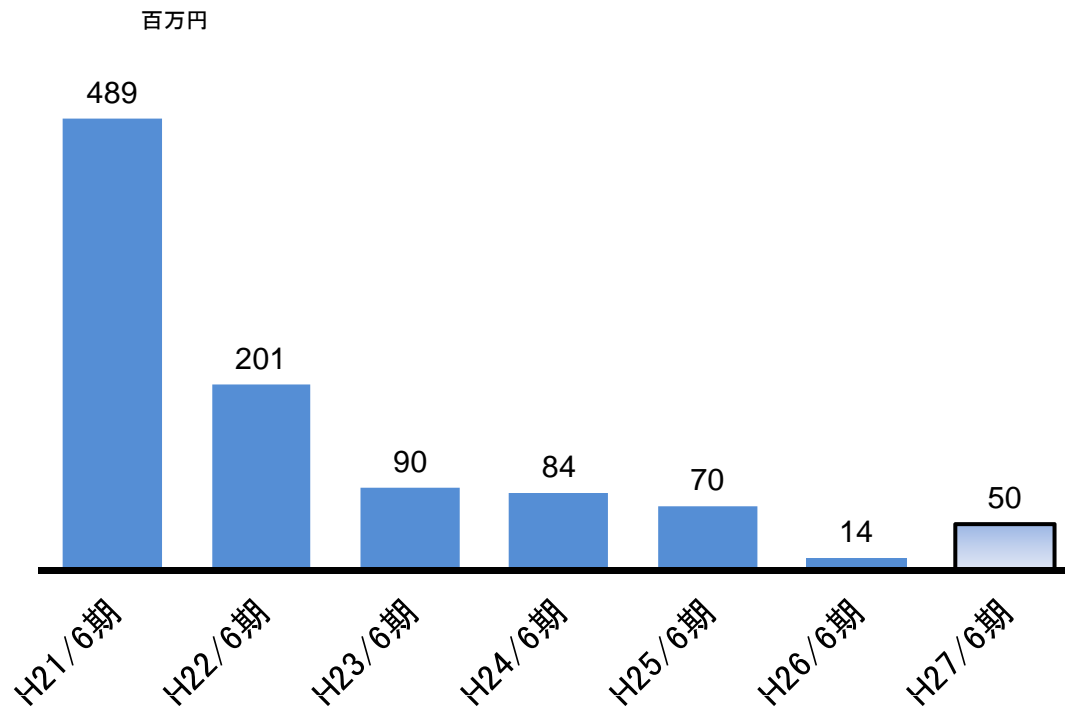


(株)オーネックス 売上高・設備投資・減価償却推移



風力発電

風力売上推移



<現状>

- ・北米のシェールガス等低価格
エネルギー開発により停滞

<今後>

【国内】

- ・電力の安定供給と脱原発
- ・浮体式洋上風力の開発
(2015年までに確立)

【海外】

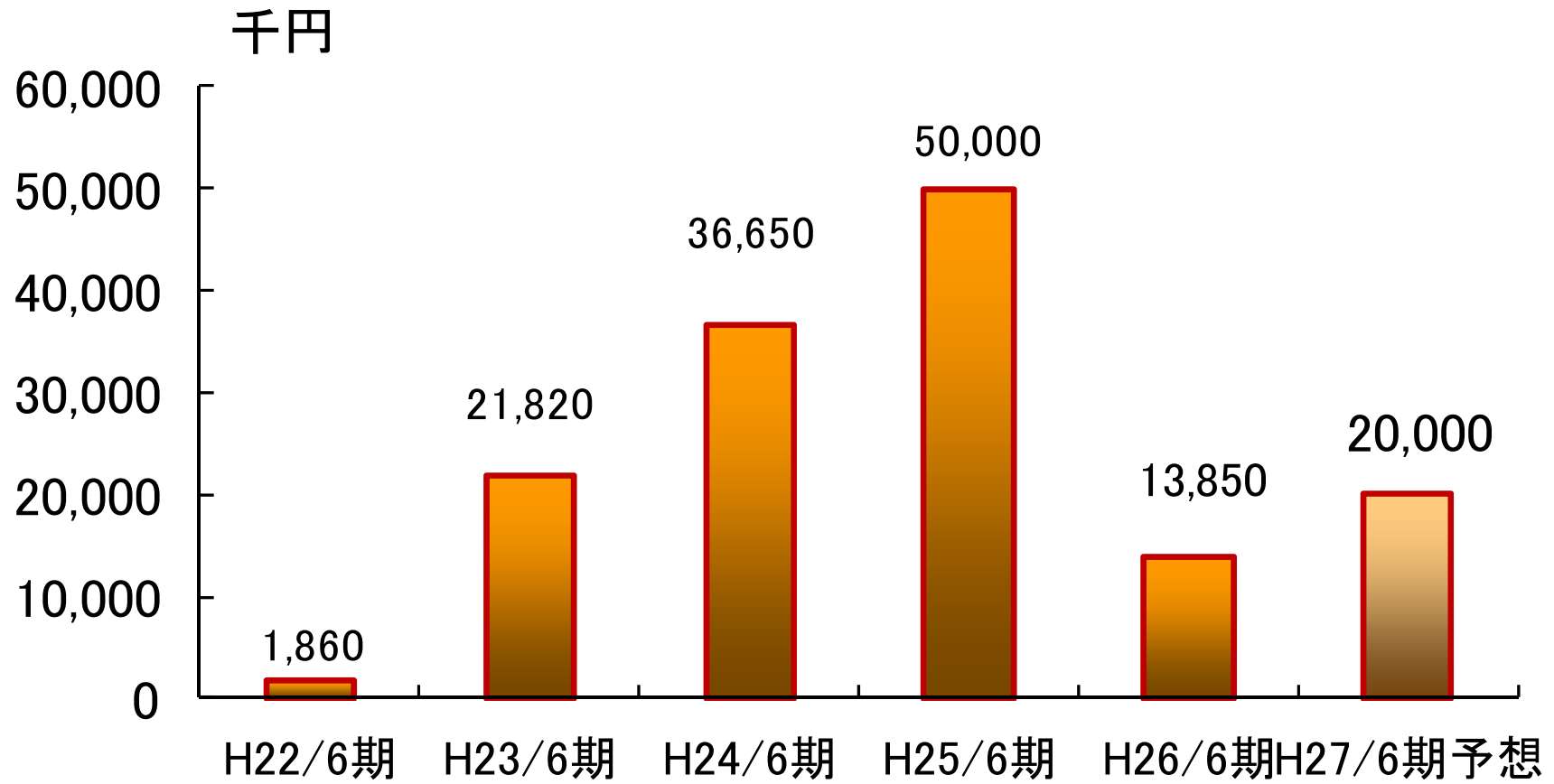
- ・欧州の洋上風力発電事業に参画
- ・大型化(7000kw機~)
- ・浮体式洋上風力の国際標準化

<課題>

- ・将来性はあるが、時間を要する

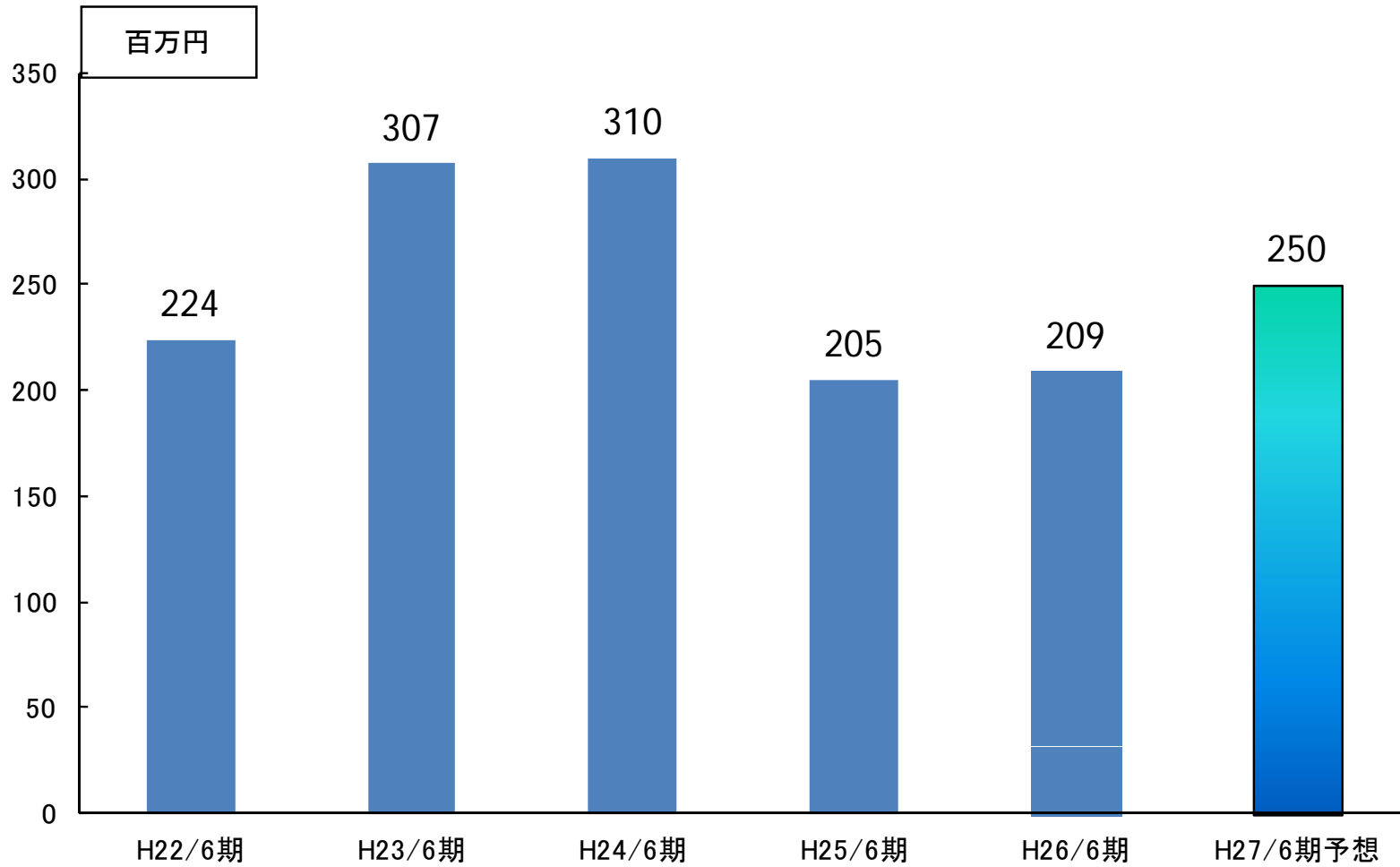
海外營業展開

台湾企業熱処理受注



窒化熱処理

窒化熱処理売上高推移



今後の展望

熱処理事業を取り巻く環境

- △ エネルギーコストの高止まりによる利益圧迫
 - ガス・電気代が当面高止まる
 - 運送コストの上昇懸念

- △ 中国をはじめとするアジア諸国の景気減速

- △ 世界的な政情不安

- △ 国内熱処理需要の競争激化
 - 価格競争激化
 - 顧客の生産拠点の分散化

- ◎ メーカーの生産拠点海外シフト
 - 円安の進行、法人税の引下げなどの条件が整えば一部は国内回帰

- ◎ 大型歯車、建設機械の国内需要増加
 - 東京オリンピックに向けてインフラ整備
 - シェールガス輸入に伴うLNG船建造
 - リニア新幹線のトンネル工事

環境変化への対応

■ 収益性の向上

- ・基幹工場である厚木・東松山工場の一体運営による人員合理化
- ・リードタイムの短縮
- ・熱処理ラインの自動化
- ・多能工化の推進

■ 新技術への取組み

- 低歪みへの取組み ⇒ プレスクエンチ
- 焼き入れ性の向上 ⇒ 真空浸炭炉

■ 新産業分野の開拓

- ・ 認証取得 [Nadcap] ⇒ 航空機分野

■ 新規受注の獲得

- ・ 熱処理外注市場の7割を占める西部・中部エリアへの拠点設置

環境変化への対応

■ 収益性の向上

- ・基幹工場である厚木・東松山工場の一体運営による人員合理化
- ・リードタイムの短縮
- ・熱処理ラインの自動化
- ・多能工化の推進

■ 新技術への取組み

- 低歪みへの取組み ⇒ プレスクエンチ
- 焼き入れ性の向上 ⇒ 真空浸炭炉

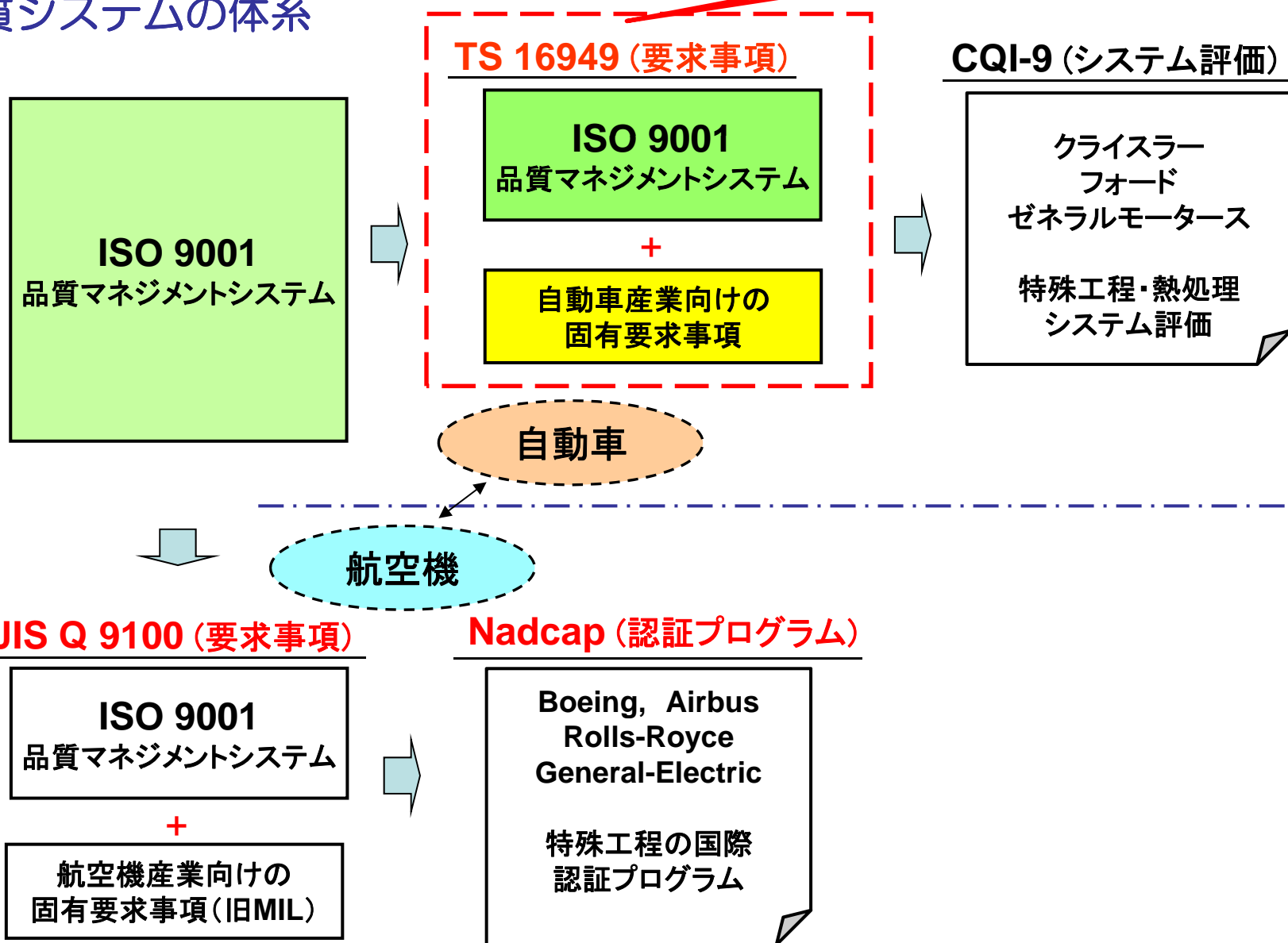
■ 新産業分野の開拓

- ・認証取得〔Nadcap〕 ⇒ 航空機分野

■ 新規受注の獲得

- ・熱処理外注市場の7割を占める西部・中部エリアへの拠点設置

品質システムの体系



環境変化への対応

■ 収益性の向上

- ・基幹工場である厚木・東松山工場の一体運営による人員合理化
- ・リードタイムの短縮
- ・熱処理ラインの自動化
- ・多能工化の推進

■ 新技術への取組み

- 低歪みへの取組み ⇒ プレスクエンチ
- 焼き入れ性の向上 ⇒ 真空浸炭炉

■ 新産業分野の開拓

- ・ 認証取得 [Nadcap] ⇒ 航空機分野

■ 新規受注の獲得

- ・ 熱処理外注市場の7割を占める西部・中部エリアへの拠点設置

新会社設立

株式会社オーネックステックセンター

1. 設立目的

- ① 近畿・東海・北陸エリアの新規顧客の開拓
- ② 既存顧客の納期短縮・運送コスト削減
- ③ BCP対策
- ④ 日本の産業基盤が集積する3大都市圏をフルカバーする事業基盤の確立

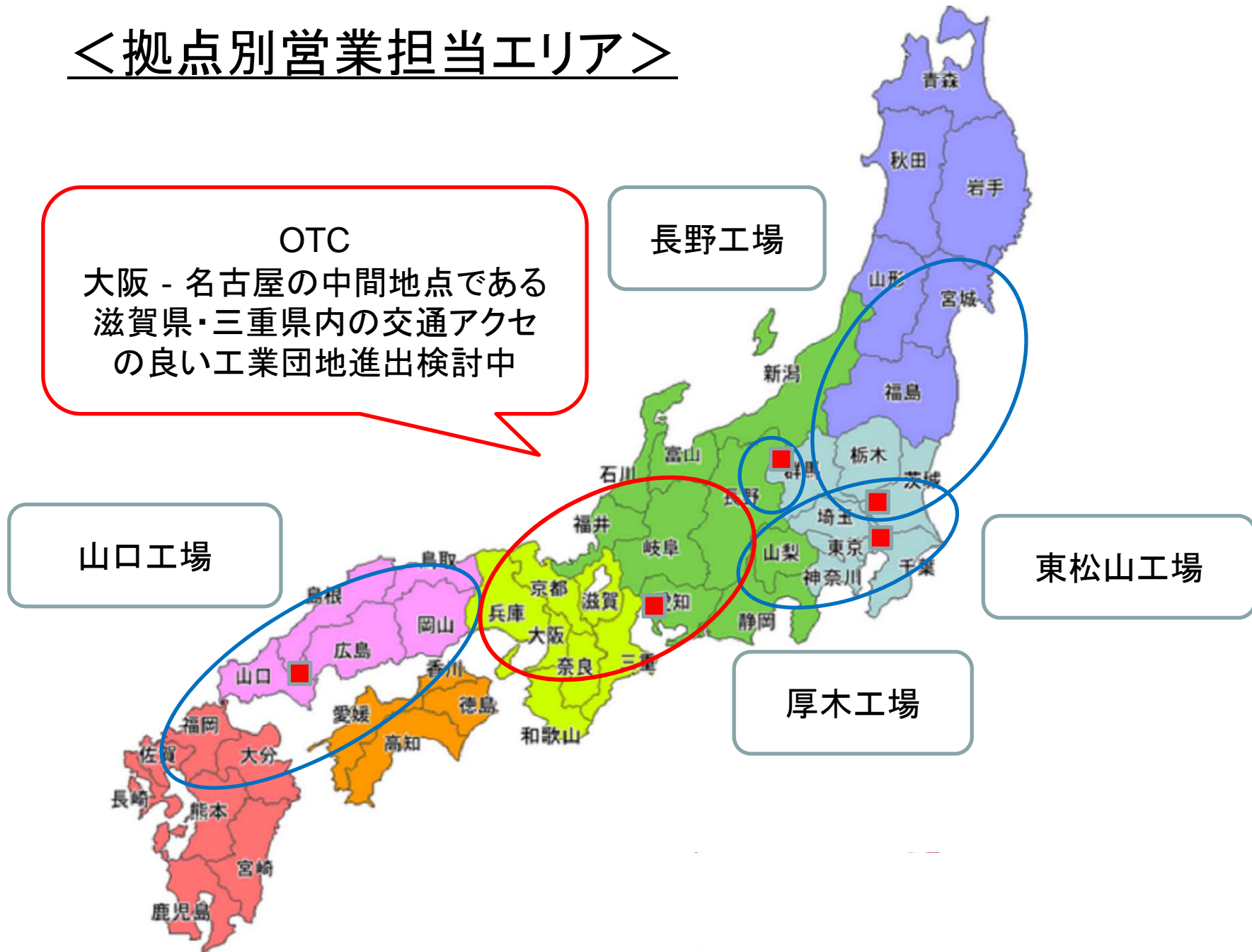
2. 資本金

・95百万円(ONEX100%出資)

3. 工場設置エリア

関西と中部を営業テリトリーとして最適な場所を検討中

<拠点別営業担当エリア>



ご注意

本資料の業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

夢に向かってチャレンジを続けるオーネックスを
引続きよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 オーネックス